

◆セミナー開催のお知らせ◆

「クルマのIoT (Vehicle IoT)、コネクティッドカー、次世代 ITS、自動運転等、
これからのビジネスを変える動向と標準化の進展」

講師:野辺 継男 氏

インテル(株) 事業開発・政策推進 ディレクター及び 名古屋大学 客員准教授

2018年5月22日
CIAJ 標準化推進委員会

日時:2018年6月22日(金) 14:30~16:00

場所:一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 C~E 会議室
東京都港区浜松町 2-2-12 JEI 浜松町ビル3階 TEL:03-5403-9359

講師:野辺 継男 氏

インテル(株) 事業開発・政策推進 ディレクター 及び 名古屋大学 客員准教授

演題:「クルマのIoT (Vehicle IoT)、コネクティッドカー、次世代 ITS、自動運転等、
これからのビジネスを変える動向と標準化の進展」

主催:情報通信ネットワーク産業協会 <情報通信月間参加行事><一般公開セミナー>

受講希望者は 6月15日までに「<https://www.ciaj.or.jp/news/events/seminar.html>」よりお申し込み下さい。なお、定員になり次第、締め切りとなります。ご提供いただきました個人情報は、CIAJ からの各種ご案内等に利用させていただく場合がございますので予めご了承下さい。

■講師紹介(敬称略)

野辺 継男(のべ・つぐお)

インテル(株) 事業開発・政策推進 ディレクター 及び 名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授
1983年 NEC 入社。国内外で IBM 互換のパソコン事業及び関連事業立ち上げ。2000年末退職後、国内最大級のオンラインゲーム会社を含む複数ベンチャーを立ち上げ CEO 歴任。2004年4月日産自動車入社。ビークル・インフォメーション・テクノロジー事業に従事。2012年3月退職。2012年4月インテル(株)入社。クルマの ICT 化から自動運転全般のアーキテクチャ構築に従事。2014年5月名古屋大学客員准教授兼務。現在に至る。

■講演概要

2000年~2010年の間、カーナビとガラケーを接続する事で、クルマをネットワーク端末とした正に Vehicle IoT と言えるサービスが世界に先駆けて実現していた。一方、海外では 2008年に 3G 携帯網と接続可能な iPhone 3G と Android が市場に投入され、2010年以降十億台規模で市場に浸透するスマホからのデータを処理する為に、データセンターの計算能力も高まり、各種 Web ソリューションを提供するクラウドが生まれた。

そのクラウド上で、クルマの各種センサーから吸い上げた大量のデータに Deep Learning を掛ける事により、自動運転に必要な画像認識や、走行アルゴリズムの生成が可能となり、2020年頃には、完全自動運転が商用化される可能性が濃厚になってきた。米国では既に自動運転の先に生まれるモビリティクラウドと言った各種サービス提供や効率的な都市計画を可能とするようなプラットフォームの開発が議論されはじめています。こうした技術の発展は、基本的にデファクト的な標準の上で進展してきており、クルマのクラウド端末化といった視点から標準化の進み方をお話しさせて頂く。

以上